

日本地震学会 B 助成(国際大会参加登録費および投稿料)成果報告書

東京大学地震研究所 研究生※ (※: 申請時博士課程 3 年)

米島 慎二

日本地震学会より国際大会参加登録費・投稿料の助成金をいただき、2021 年 8 月 21 日から 27 日までインド共和国にて開催された“Joint Scientific Assembly IAGA-IASPEI 2021”に参加しましたので、成果報告を致します。発表の概要は以下の通りです。

- ・発表日時：2011 年 8 月 27 日 18:15 – 18:30 (IST)
- ・発表セッション：Marine Geophysics (J6)
- ・発表タイトル：Seamount subduction and event locations relative to a reflection interface at Off-Ibaraki region, southeastern part of Japan
- ・発表形式：口頭発表

事前に Abstract の審査がありましたが無事アクセプト通知をいただき、口頭発表での参加となりました。発表内容は博士論文の一部となる予定の内容で、沈み込み帯（茨城沖）で発生している微小地震の詳細な位置を決定し、テクトニクスの詳細な描像を得るというものです。扱っているデータは微小地震ですが、データ解析手法が VSP など物理探査分野のものであるため、Marine geophysics のセッションを選びました。セッションは国籍・内容ともに多岐にわたり、とても興味深いものでした。自分の発表は滞りなく終わりましたがセッションの時間が押していたこともあり、残念ながら質問時間はありませんでした。自分の発表以外では、多くの発表者は得られた解析結果をどのように検証したかというところに力を入れて発表しているのが印象的で、検証の重要性について再認識しました。地震学では近年、データ処理技術の高度化が進んでおりますが、結果検証のための技術や知見の蓄積も同様に重要になるのではと感じました。このように、国際学会への参加及び口頭発表の経験はとても良い刺激になりました。日本地震学会及びご支援いただいた皆様に感謝申し上げます。

以上